記者発表資料

平成23年 5月16日
東北地方整備局
月山ダム管理所

融雪と降雨による出水対応
（13日間で3回発生した洪水※1を防御）
～　月山ダム防災操作（洪水調節）の実施について　～

月山ダム上流域（庄内南部地域）では、融雪による出水と低気圧及び前線を伴った降雨により、平成23年5月1日から5月13日の間に、計3回の洪水※1が発生しました。
この影響により、月山ダムではダムに流れ込む水を一時的に貯め込んで、下流河川の増水を低減させる防災操作（洪水調節）を5月1日、10、12日の計3回実施し、合計で1，252万立方メートル（東京ドームで約10杯分）の水を一時的に貯め込みました。
特に5月10日の洪水では平成14年のダム完成以来、2番目の洪水量※1を観測。
この洪水調節の結果、下流河川の増水・氾濫防止に対応しました。

1．今回の出水規模

①第1回　防災操作（5月1日17:00～5月2日15:00）
・ダム最大流入量※2　　307．08m3/s（5/2 0:00）
・ダム最大放流量　　200　m3/s
・ダム調節量　　107．08m3/s
・ダム洪水調節総量（ダムに一時的に貯めた量）　約201万立方メートル

②第2回　防災操作（5月10日4:00～5月10日19:00）
・ダム最大流入量　　627．96m3/s（5/10 7:10）　管理開始以降2番目※3
・ダム最大放流量　　200　m3/s
・ダム調節量　　427．96m3/s
・ダム洪水調節総量（ダムに一時的に貯めた量）　約773万立方メートル

②第3回　防災操作（5月12日23:30～5月13日15:00）
・ダム最大流入量　　358．24m3/s（5/13 2:20）
・ダム最大放流量　　200　m3/s
・ダム調節量　　158．24m3/s
・ダム洪水調節総量（ダムに一時的に貯めた量）　約278万立方メートル

※1　月山ダムにおける洪水量とは毎秒200m3以上の流入量です。
※2　流入量とはダムに流れて込んでくる水の量のことをいいます。
※3　管理開始以降、最大の流入量は平成16年7月17日の687m3/s。

2．ダム洪水調節効果（別紙）

３．今後の見通し

月山ダムでは、次の洪水に備えるため、現在ダムの貯水位を低下中であり、ダムから放流を継続しております。

河川の水位上昇が通常より高い状態が続きますのでご注意願います。

また、ダム上流域には今年初冬の豪雪の影響のため、多くの残雪があり、少量の降雨があった場合でも、融雪と併せて洪水が発生する恐れがあります。

このため、今後のダム情報には注意願います。

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　月山ダム管理所
山形県鶴岡市上名川字東山８－１１２
電話　０２３５－５４－６７１１
管理所長　南　　文彦
管理係長　藤原　孝史（内線３３２）

月山ダムにおける今回の融雪と降雨による防災操作（洪水調節）効果

